

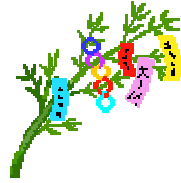
発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113

〒496-0036

代表TEL:(0567)26-3921

FAX:(0567)26-3922

ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>



夏の宴 / S・O・S <M・O>

毎年恒例の「夏の宴」を今年も開催いたします。  
**開催日：8月14日(火)**  
今年は1日限りの開催です。愛宕の家で亡くなられた方々の盆供養も行います。皆様の沢山のご参加を心よりお待ちしております。



昨年まで「夏の宴」で同時開催していた「愛宕の家・家族懇談会」は8月25日(土)13時～開催予定です。対象の方には来月号と共に開催案内を送付致します。

メリハリのある生活 / 愛宕の家 <A・H>

ここ最近、天気の良い日には、施設を利用されているみなさんと合同で体操をしています。大勢集まり、ちょっとしたお祭り事のような楽しさがあります。この体操をとて楽しみにされている方が何人かいて、普段はベッドで過ごす事が多いIさんは『サッカーやりに行こう!』とはしゃいだり、またOさんは『早く体操やりに行こう!』と元気良く声を掛けてくれます。体操に消極的な方も『外へ出るなら着替えなくちゃ』と身仕度をされたり。メリハリ生活のちょっとした原動力になっているんですよ



小規模多機能と居宅支援が共同で支える生活 / ナイス・ホーム <Y・O>

小規模多機能へ『登録』するという事は、最期までお世話になる…。はたまた、居宅支援事業所から見ると、「利用者さんとの関係を断たれる」と考えられるかな～と感じています。(『そんな風に思っていないよ!』と思われた方、失礼致しました。あくまでも一般論です。)  
小規模多機能は、利用予定を定期的に立てられない方、臨機応変な対応(受入)を求めたい方、退院後の生活に不安を感じている方など、事由は様々ですが、特徴としては“自宅や馴染みの環境で過ごしたい”という方が登録に適しています。考え方は、一か所の事業所の中で“通い・訪問・泊まり”を自由に組み合わせ、また、その時々々の事情に合った利用方法を提案し対応する。ということでしょうか。  
平成19年12月に開設後～現在までの間に、沢山の居宅支援事業所さんと関わりを持ちました。紹介を受けた後、利用者さんの中には、小規模多機能利用を続けるうちに状態や環境がとても落ち着いたので、再度、沢山の方と関わりを持つべく、『(以前の)居宅支援事業所に戻ろう!!』と、小規模多機能登録の解除を勧めた方もあります。当初には考えられなかった居宅支援事業所と小規模多機能の共同作業で支援する という発想です。冒頭に書いた意識は払拭し、地域の方の在宅生活のために、居宅介護支援事業所と小規模多機能事業所が、それぞれの特徴を理解し、生かし、安心した生活を営んで頂けるような連携が出来る日が来たのだと思います。小規模多機能は定額制。使いたい放題ではないけれど、悩んだ時には積極的に選択肢として取り入れて下さい。

開店して50日 / てのひら <Y・I>



メニューや価格設定等、試行錯誤しながらの船出。どうなることやらと戸惑いながらの50日。いろんな方が来て下さり、介護事業所だけの時とは一味違った新たな関わりの場を持てるようになりました。ご近所の老夫婦が「歩いて来れるで有難いわ」と毎日のように来て下さったり、コーヒーの後に施設の見学を希望する人がいたり、介護の話題になったり…。地域の皆さんに喜んでもらえる喫茶店を目指して頑張りま～す。

7月の利用状況と行事予定

ナイス・ケア(定員なし)  
…新規サービス大歓迎  
愛宕の家(定員17名)  
…入居者14名  
ナイス・ホーム(定員21名)  
…登録者14名  
つしま紹介所  
…求人者・求職者大歓迎  
ナイス・デイ(定員10名)

日	月	火	水	木	金	土
6	5	4	5	6	6	5

上記の数字(人数)は定期利用者数  
(募集中 満員気軽に問合せ下さい)

日	内容	7月行事
7日	七夕会	
10日	外食DAY	
17日	小規模多機能・運営推進会議	
20日	避難訓練	
26日	誕生会	

看護師コーナー / ~誤嚥・摂食障害~ 日々関わる中での疑問や不安を解決できたなら… <M・T>

土や水、風や音、空気、生き物や草、人やその周りの雰囲気、日常に触れるそんな刺激が感覚を育てる基盤になると思う。その基盤に触れる環境は簡単なようで難しい。8月で2歳になる息子は色々な刺激に触れたい様子だが住宅環境もあり難しい。どんな環境でどんな子育てをしたいのか、新たな夢が出来た。

**疑問 11**「口に食物を含んだまま、飲み込まない」…多くみられる症状。食物の認知が悪い(意識状態が悪い・食物を認識していない)・口腔内の感覚が悪い・拒食・咀嚼や送り込みの障害など…まずは脳卒中(脳梗塞や脳出血など)などの再発はないか全身状態に異常がないか確認。異常がなければ脱水が原因であることが多い。脱水で元気がなくなり、口腔内が乾燥して飲み込めなくなることがある。脱水を改善すると口腔内が潤い、嚥下機能が回復してくることもある。今年の夏も暑いだろう、子供も大人もこまめな水分補給を心掛けたい。

**疑問 12**「一口量の目安は?」…個人差もあるが一般的に20ml(カレースプーンすりきり1杯)ぐらいが嚥下しやすい量らしい。多すぎれば嚥下しにくく誤嚥したときの危険が高い。少なすぎると刺激が足りなくて嚥下しにくくなる。少なくとも3mlほどあると刺激になるようだ。私は進学に悩んでいる時、母からの一言で看護師になる道を選んだ。思い付きであったかもしれないがきっと普段の様子から看護師が向いていると感じ、それと同時に母の夢でもあったのだろう。「普段の様子」には大切な情報が詰まっている。そして、それを感じ取る力があれば、双方が同じ方向を向き、力を発揮する。それは感覚であり、言葉では現し難い。私は何を感じ取ることができるのか…個々にあった一口量を感じ取れるような力をつけたい。



宿題と向き合い中 / ナイス・キッズ <R・W>

毎日、学校から帰って来ると宿題が待っている。現在2学年、2つの小学校から通っている子ども達。それぞれに違った宿題が出されている。内容も違えば量も違う。この「量が違う」ということがくせものである。K小学校は平日宿題が少なく、週末は多い。S小学校は平日宿題が多く、週末は少ない。平日、一緒に宿題をしていても、K小学校の子は早く終わってしまい、外へ一目散に走っていく。ここで残されたS小学校の子は一気にやる気がなくなってしまう。ここからカレと私で宿題との戦いが始まる。「早く遊びたい。でもみんなが遊んでいるのに、自分だけがやりたくない」というカレの思い。「早く宿題やりな。」と言いつつも、どうしたらやる気になるだろう?と悩み試行錯誤する私。…と言っても、結局のところ、本人が「やるぞ」と思えばあっと言う間に終わっちゃうんですけどね～



訪問時間以外にも / ナイス・ケア <A・M>

「日の時から、ヘルパーを追加でお願いしたい」とYさんのご家族から追加の訪問依頼を受けた。その話を聞いていた担当スタッフから「その日はご家族が休みのはず」と声が掛かった。すぐに折り返し電話を入れる。「あ、間違えとった。お願いしたいのはその次の日だわ。気付いてくれてありがとう!」家族の言葉に、予定間違いを未然に防げたことを確信し、ホッとする。私達スタッフは訪問する時間帯のことだけでなく、利用者さんや家族の日々の生活を知っておくよう心がけている。それは、訪問時以外の時間も想定し、関わることの大切さを感じているから。把握した内容はスタッフ間で共有できるよう報告書や日誌に記載したり、カンファレンスで伝えたりしている。この連携はとても大切。でも時々抜けてしまうこともあり、まだまだ徹底されていない現実を感じることもある。今後の課題の一つ。「今日は透析日だから、疲れて休んでいるだろうか」とか「明日はデイの日だから、準備の声かけをしなきゃ」など、いろいろと考えながら、今日も利用者さんのお宅に向かっています。

ピカピカにしまっせ / ナイス・デイ <H・O>

以前、老人の皮膚のかさつきについての記述を読んだ。「老人特有の白く乾燥したカサカサは汚れが蓄積されたものである」なるほど、毎日入浴している人は、よほどの人でないかぎり服を脱いだ時にできる白いものをあまり目にしない。お風呂って大事なんだなあ、と思ったことがある。利用者さんの中には家族泣かせの方もみえるよう。「家ではなかなか入らないんです。」と言われる方もチラホラ…そんな時は「どんな手段でお風呂に誘おうか?」「この間は〇〇したら抵抗なく入ってくれたよ」とスタッフ間で話し合う。定員10名のデイならではの(?)の個浴の特権もあるかもしれない。一対一で対応できるし、対応する人を交代することもありだ。「入浴ですよ」の雰囲気を出して誘わない等。「あ～入って気持ち良かった、ありがとう」が聞ける時は最高に幸せを感じる。誰だって、頭の先から足の先までピカピカだとさっぱりして気持ちいいですもんね お手伝いしますよ!



「散髪後、お風呂に入るうね。」

編集後記 <A・M>

通勤途中、散歩のご夫婦とよくすれ違う。片麻痺があり足を引きずる奥さんをご主人がかばい、周りの車や自転車で気を配って歩いている。2人の穏やかな表情にこちら心も癒される。ここ数カ月で、奥さんの歩き方がとても力強くなってきた。毎日の積み重ねの成果だろう。毎日コツコツ、その姿勢を見習いたい。明日の朝も会いたいな。晴れますように。